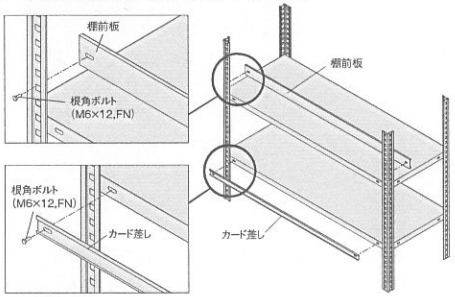
オプション部品の取付け

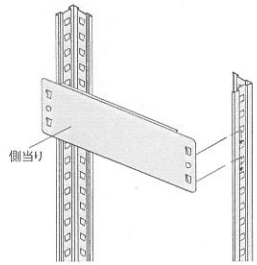
棚前板/カード差し

棚前板は棚板より二つ上の支柱孔に根角ボルトで取付けてください。
カード差しは棚板前面の孔に取付けてください。



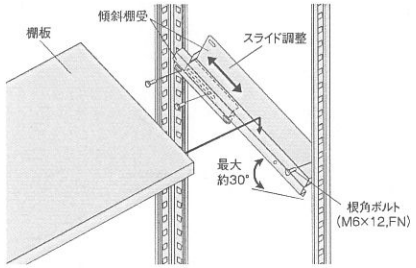
側当り

側当りは支柱内側に配置します。
取付けは支柱の孔に爪部をはめ込みます。



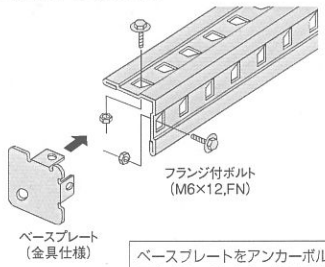
傾斜棚受

傾斜棚受は２つの部材を組み合わせて、それをスライドさせることで角度調整します。支柱には根角ボルトで固定してください。



ベースプレート(金具仕様)〔転倒防止対策〕

ベースプレート(金具仕様)は支柱下部に取付けます。
フランジ付ボルトで固定します。



ベースプレートをアンカーボルト等で床に固定することにより、棚の転倒を防ぎます。

お手入れの方法

- 著しい汚れは、薄めた中性洗剤につけた布をよく絞って、汚れを拭いてください。その後、乾いた布でから拭きしてください。
- ベンジン・アルコール・シンナー類及び化学ぞうきんは使用しないでください。表面仕上げのキズや変色の原因になります。

故障と思う前に（不調診断）

トラブル内容	処置方法
棚本体がグラつく	各爪部が確実に入っていますか ▼ 確実にはめ込んでください
棚板がガタつく	中段金具の爪が支柱にきちっと入っていますか ▼ 確実にはめ込んでください

保証と修理について

(1) 保証期間は、ご購入日より１年間とさせていただきます。本取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本記載内容に基づき無償修理いたします。

(2) 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
①改造又は分解による故障及び損傷。
②ご使用者の責任に帰すると認められる故障。
③火災や天災による故障及び損傷。

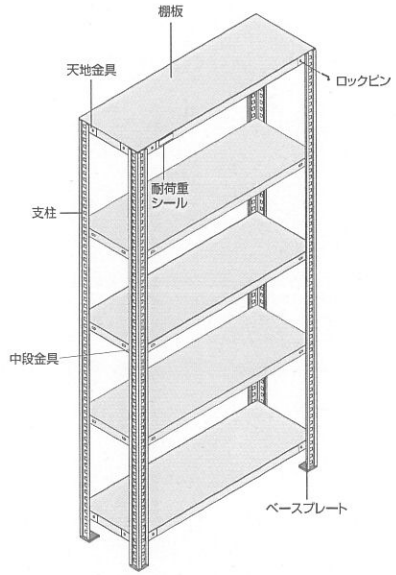
(3) 保証期間経過後の修理は、有償となります。

取扱説明書　120kg/段

軽量セミボルトレスラック

１段当りの最大積載質量は 120kg/ 段(等分布載荷)です。

- ●集中荷重になりますと、耐荷重能力は半減します。
- ●棚一連当りの最大積載質量は 600kg/ 連です。
- ● W875 × D300・450 の最大積載量は 100kg/ 段になります。
- ●最大積載量（等分布載荷）150kg/ 段も制作できます。



このたびは、軽量セミボルトレスラックをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この説明書は、商品の使い方と使用上の注意事項及び組み立て方について記載しています。ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

1台当り部材(5段仕様の場合)

品名	数量	材質	表面仕上げ
支柱	4	スチール	粉体塗装
棚板	5	スチール	粉体塗装
天地金具	8	スチール	ユニクロメッキ
中段金具	12	スチール	ユニクロメッキ
ベースプレート	4	PP(再生材)	—
ロックピン	8	スチール	ユニクロメッキ

安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

⚠警告
この警告事項を守らなければ、死亡または重傷などを負う可能性があります。

集中荷重をかけないでください。最大積載質量より重いものを載せないでください。

棚一段当りの最大積載質量は等分布載荷です。集中荷重をかけたり、最大積載質量より重いものを載せると棚板がたわみ、荷物が落下し、ケガをする恐れがあります。

分解禁止。
分解・移設は専門業者にお任せください。

転倒などの事故になることがあります。

安全保安部品(ロックピン等)をはずして使用しないでください。

ビームがはずれ棚が転倒し、事故によってケガをする恐れがあります。

廃棄するときは、専門業者にお任せください。

※一段当りの最大積載質量表示シールを必ず取扱説明書の表示位置に貼ってください。
※この商品を第三者に譲渡、貸し出しを行う際は、本取扱説明書を添えてお渡しください。

⚠注意
この注意事項を守らなければ、傷害を負うかまたは物的損害が生じる可能性があります。

足を掛けたりよじ登ったりしないでください。

転倒してケガをしたり、棚が変形・破損する恐れがあります。

荷物を投げて載せないでください。

棚板がたわみ、ラックが破損し、ケガをする恐れがあります。

最上段の棚板に荷物を載せないでください。

棚本体が倒れ、荷物が破損したり、ケガをする恐れがあります。

棚本体に寄りかからないでください。

棚の積載物、積載量によって、棚が倒れケガをする恐れがあります。

製品の孔に指を入れないでください。

孔に指を入れると、ケガをする恐れがあります。特に小さなお子様には気をつけてください。

危険物(薬品・壊れ物等)を収納しないでください。

人体や衣類等を傷つけることがあります。

爪が確実に入っていない状態で使用しないでください。(定期的に点検してください)

本体が壊れてケガをする恐れがあります。

異常を発見したまま使用しないでください。

本体が壊れてケガをする恐れがあります。

上下を確認の上、正しく使用してください。

棚板を逆向きに使用すると、ケガをする恐れあります。

最上段に取り付ける棚板は支柱の上端に必ず取り付けてください。

支柱の角でケガをする恐れがあります。

雨水・湿気の多い場所では使用しないでください。

サビにより本体が壊れてケガをする恐れがあります。

適切な換気をしてください。

購入当初は、稀に化学物質の発散がありますので、しばらくの間は、換気や通風を十分行うように心がけてください。また、室内が著しく高温多湿となる場合（室温28℃、相対湿度50%超が目安）には、窓を閉め切らないようにしてください。

ストーブなど火気を近づけて使用しないでください。

やけどや火災の原因になります。

不安定な床面に設置しないでください。

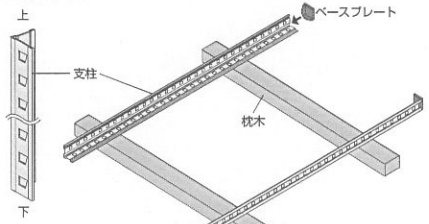
棚が傾いて荷物が落下し、ケガをする恐れがあります。必ず水平な床面に設置してください。

K-1012-B130201

本体の組み立て（標準装備）

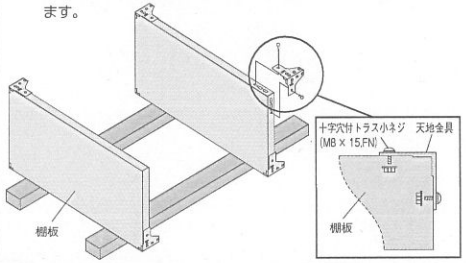
1 まず支柱を並べてください。

組立がし易いように枕木などを敷いてください。
支柱の下端部にベースを差しこみます。残りの支柱にも同様に取り付けます。



2 棚板に天地金具を取り付けます。

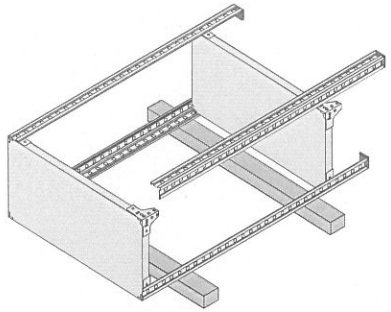
最上段と最下段の棚板に図のように天地金具を取り付けます。
天地金具を木ハンマーで軽くたたき棚板の穴にツメを差しこみます。1コーナー2本の十字穴付トラス小ネジ（計16本）で固定します。



3 最上段・最下段の棚板を取り付けます。

棚板に取り付けた天地金具に図のように支柱を差し込みます。
最上段の棚板は天地金具の部分を木ハンマーで軽くたたき取り付けます。最下段の棚板は、棚板に当て木をして木ハンマーで軽くたたき取り付けます。

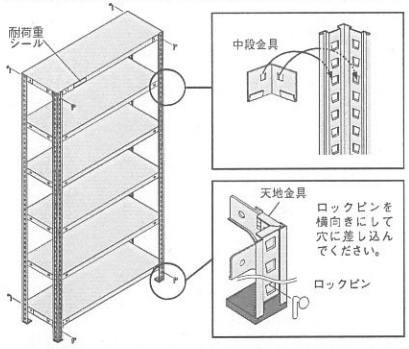
⚠注意 棚板を直接木ハンマーでたたかないでください。
棚板がへこむ恐れがあります。



4 中間の棚板を取り付けます。

ラックを立ててロックピン（8箇所）を入れます。中間棚を取り付けるために、中段金具をご使用になりたい間隔に各段4個取り付け、棚板を中段金具のツメに差し込みます。耐荷重シールを図の位置に貼付けます。

⚠注意 棚板がツメに掛かっているか必ず確認してください。

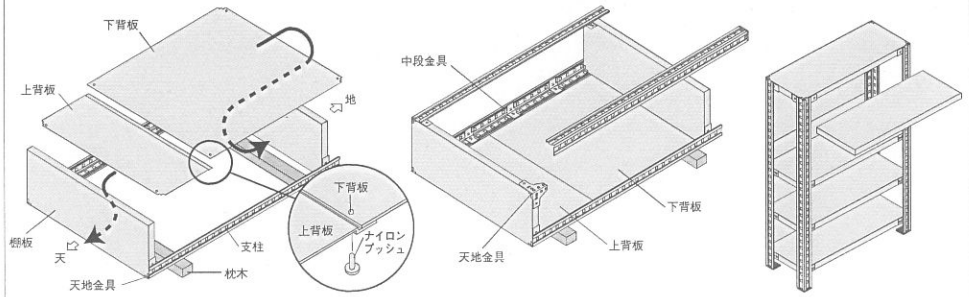


オプション部品の取付け

背板

最上段と最下段の棚板に手順2のように天地金具を取り付け、十字穴付トラス小ネジで仮止めします。（背板を仮止めする際、ボルトを外し共締めします）上背板の両端部を支柱に載せたまま上端部を最上段の棚の下に通し、棚板と仮共締めします。下背板も上背板と同様に下端部を最下段の棚の下に通し、棚板と仮共締めします。上背板と下背板を図（円内）のように重ね、ナイロンブッシュで外側から止めます。

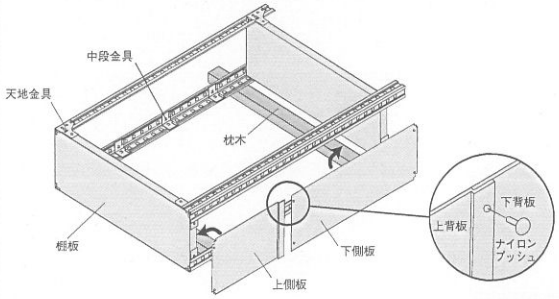
上側の支柱も同様に天地金具に支柱を差し込み、ボルトで仮締めします。中段金具で背板を仮に押さえます。ラックを立て、中間棚を取付けます。
※H1200は背板1枚になります。



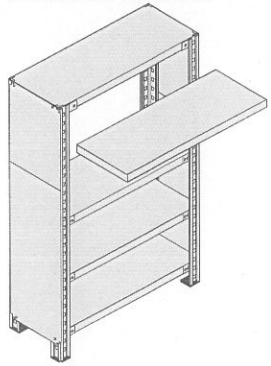
オプション部品の取付け

側板

最上段と最下段の棚板に手順2のように天地金具を取り付け、4本の支柱とも、十字穴付トラス小ネジで仮止めします。（側板を仮止めする際、ボルトを外し共締めします）背板と同様にラックの内側から上・下の側板を取付けます。側板の上端部と下端部を棚板の外側に通して棚板と仮共締めします。上側板と下側板を図（円内）のように重ね、ナイロンブッシュで外側から止めます。反対側も同様に取付け、中段金具で仮に側板を押さえます。

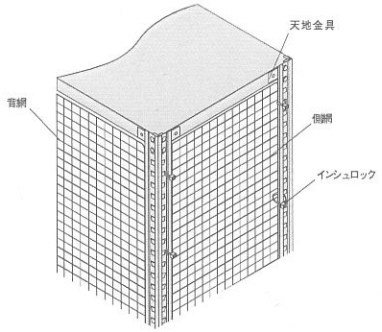


ラックを立て、中間棚を取付けます。
※H1200は側板1枚になります。



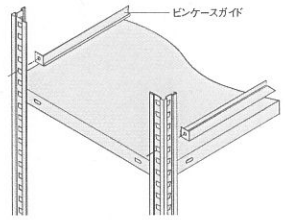
金網

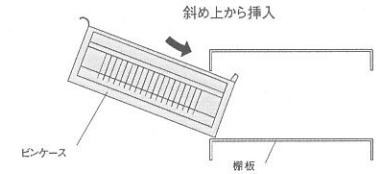
棚を組み付けてから金網を取付けます。金網は付属のインシュロックを利用して支柱に固定します。（1面につき8～10カ所）



ピンケース

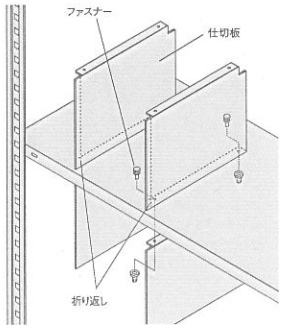
ピンケースを使用される場合は該当段の両側にピンガイドをセットしてください。ピンケースガイドは先端の突起を段の一つ上の支柱長孔にはめ込んでセットします。





仕切板

仕切板で棚板を挟み込み、天側から順にファスナーで固定します。その際、折り返し部が手前で、仕切られた間口寸法が均等になるように仕切板の方向を揃えてください。



移動仕切り

移動動仕切りのベースプレートのコの字部分を棚板前側（手前端）に引っかけます。